



妊婦さんのインフルエンザワクチン接種と 抗インフルエンザウイルス薬について



妊婦さんはインフルエンザにかかりやすいということはご存じでしょうか。

普段は免疫力が働いて異物から身体を守ってくれていますが、妊娠すると自分ではない赤ちゃんを免疫力が攻撃しないように、妊婦さんの免疫力が低下します。また、妊娠中は全身の血液の量が多くなり、心臓への負担が増してきます。さらに大きくなった子宮の影響で、呼吸に負担がかかってきます。そのような状態で肺炎になると息切れ、呼吸困難などが起こりやすくなります。このような理由で、妊婦さんはインフルエンザにかかりやすく重症化しやすくなっています。

一番良いのはインフルエンザにかからないことなので、流行期は人混みへの外出を出来るだけ避ける、手洗いやうがいをしっかり行う、十分な休息をとるなど日常生活での取り組みが重要です。

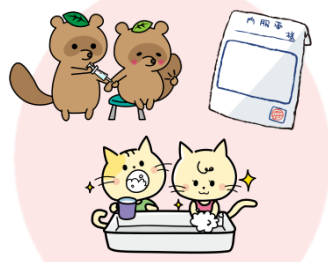
インフルエンザワクチン接種も有効です。インフルエンザワクチンを打てば100%かからないわけではありませんが、発症や重症化を予防する効果があります。インフルエンザワクチンは不活化ワクチンといって病原性をなくして、免疫を作るのに必要な成分だけを製剤にしたものです。ですからインフルエンザワクチンを接種しても妊婦さんがインフルエンザにかかるわけではなく、赤ちゃんもインフルエンザにかかる心配はありません。また、インフルエンザワクチン接種により先天性異常が増えることはないという報告されています。世界保健機構(WHO)や日本産科婦人科学会など様々な団体が妊婦さんのインフルエンザワクチン接種を推奨しています。インフルエンザワクチン接種後、効果が現れるまでに2~3週間必要で、その後3~4カ月効果が続くため、ワクチン接種は流行シーズンが始まる10~11月頃が理想とされています。

インフルエンザにかかってしまい、薬の投与が必要と判断された場合は、抗インフルエンザウイルス薬が使用されることがあります。日本産科婦人科学会などの報告によれば、オセルタミビル(タミフル®)、ザナミビル(リレンザ®)についてはすでに多くの妊婦さんが使用しており、赤ちゃんへの影響はないと考えられています。また、家族内にインフルエンザ患者がいるなど接触する機会が多い場合は、インフルエンザにかからないために予防的に抗インフルエンザウイルス薬を使用することも考慮されます。

妊婦さんにインフルエンザをうつさないために、妊婦さんの周りの方にインフルエンザワクチン接種、手洗いやうがいによる予防などにご協力していただきたいと思います。

インフルエンザワクチン接種や抗インフルエンザウイルス薬を使用することに、不安がある妊婦さんもおられると思います。その際は主治医の先生とよく話し合ってから決めていただければ幸いです。

薬剤部 甲斐 崇文



「おぎゃー!!」 in 助産院 Sun

助産院でお産ができる方は、
※妊娠経過が正常な経産婦さんで、医師より助産院でのお産が可能と言われた方
※ご本人とご家族が、助産院でのお産を希望されている方
※当病院の産科外来を受診されている方です。



院内助産院でお産をされたお母さんにお話を伺いました。今号は、6月に出産された舜くんのお母さんです。



現在の心境をお聞かせ下さい!

毎日あつという間に過ぎていきますが、お兄ちゃんがとても優しく、泣いていると「お兄ちゃんがいるから大丈夫よ、えんえんしないで」と話しかけてくれます。その2人の姿に癒されています。元気に生まれて来て、順調に成長してくれているのでありがたいです。



助産院で出産しようと思われた理由は?

私自身が助産師の経験があることもあり、自分は自然に元気な子が産めるという漠然とした自信があったので以前から助産院で出産したいと思っていました。1人目の出産後に助産院でお世話になり、ゆったりとした雰囲気の中で落ち着いて過ごすことができたので、さらにその思いが強くなりました。



ご家族の反応はいかがでしたか?

【主人】陣痛がきた時は仕事で、早退して病院にかけつけてくれましたが出産には間に合わず、あと5分早ければ立ち会えたのにという状況でした。立ち会えなかったことは残念と言っていました。無事に生まれたことを喜んで「頑張ったね」と感謝してくれました。

【母】陣痛がきたときからずっと付き添ってくれて、痛みが強くなってからはずっと手を握って励ましてくれました。いてくれるだけで心強く、頑張ることができました。



「いざ、お産!」から過ごされてみていかがでしたか?

入院時はまだ痛みが弱く余裕があったのに、すでに子宮口が5cm開いていると聞き、今回は頑張れると思いました。その後、助産師さんが足浴やバランスボールに座るなど私の様子や気持ちを確認しながら適切なアドバイスをして下さったので、言われたことを全て行った結果スムーズに出産することができました! 初産時は腰痛がひどかったのですが、今回は側臥位で出産できたこともあり楽だったと感じました。

【長男(2歳)】出産時は保育園に行っており、夕方会いに来てくれました。弟を見た瞬間に笑顔で名前を呼んでくれました。最初は照れていましたが、帰る前には頭を触って「かわいいね」と言ってくれて、その姿がとても可愛く優しいお兄ちゃんになってくれたことがとても嬉しかったです。



「助産院で出産を!」と検討中の皆さんへメッセージをお願いします。

みんな優しくベテランの助産師さんばかりなので安心して出産できる環境だと思います! 前回母乳が出なかった私に、それぞれの助産師さんが乳房マッサージや授乳の手技の確認など色々アドバイスして下さいだったので、現在はほぼ母乳で育てられています。とても感謝していますし、機会があればまた助産院で出産したいと思います。ちなみに...1人目の時にはなかったお祝い膳がいただけたのですが、とてもおいしかったです! 余裕ができれば、それを作られているお店にランチに行きたいなと思います。



しゅん 舜くん
令和元年6月27日生まれ

助産院Sunスタッフより

陣痛が来て入院された後、こちらの提案する事を積極的に取り入れて下さり、前向きに陣痛をとりえ終始落ち着いて過ごされたのが印象的でした。お母様が腰のマッサージや手を握って下さって心強かったですね! 母乳も順調そうで安心しました。母乳育児で心配な事などあれば母乳外来へいつでもどうぞ。今年の年末年始は賑やかにになりそうですね♪♪ (川本)

センター稼働状況

分娩数	55件	緊急帝王切開	5件
母体搬送	5件	NICU稼働率	75.0%
新生児搬送	0件	MFICU稼働率	88.3%

(令和元年9月)

『trick or treat』



編集後記

朝晩は涼しくなり、ようやく秋らしくなってきましたね。日中との寒暖差から体調を崩されてはいませんか? さて、今年も『ハロウィン』の季節がやってきました! 周産期4階のロビーも少一しずつ変化していきますよ♪ (C.K☆N.S☆Y.M☆K.H.)



周産期センター
キャラクター
マミー&メイ

